

平成27年度

定期総会決定集

平成27年6月19日(金)
「マロウドイン熊谷」

(公財)日本電信電話ユーザ協会
埼玉北地区協会

目 次

平成26年度事業報告	1頁
平成26年度決算報告	7頁
平成27年度事業計画	9頁
平成27年度収支予算	14頁
役員の改選	15頁
地区協会の統合	16頁

平成26年度 事業報告

1.会議【理事会・定期総会等】

事業名	開催日・参加状況等		会場・内容等
埼玉支部理事会	開催日 議 題	平成26年5月12日 理事6名 監事2名 平成25年度事業ならびに決算報告 平成26年度事業計画他	パレスホテル大宮 (さいたま市大宮区)
全地区正副会長 打合わせ	開催日 出席者 議 題	平成27年2月26日 理事2名 全体(理事・顧問 22名) 地区協会のあり方(検討)	パレスホテル大宮 (さいたま市大宮区)
地区理事会	開催日 出席者 議 題	平成26年6月20日 役員等(理事・監事・顧問) 15名 定期総会議案審議 他	マロウドイン熊谷 ★定期総会と同時開催 (熊谷市)
定期総会	開催日 出席者 議 題	平成26年6月20日 30事業所37名 平成25年度事業ならびに決算報告 平成26年度事業計画 他	マロウドイン熊谷 (熊谷市)

2-1.情報活用・情報通信関連【ICTセミナー】

事業名	開催日・参加状況等		会場・内容等
エクセル活用	前期	参加数 開催回数 2事業所2名 (支部合計18事業所22名) 2回(平成26年5月)	WithYouさいたま (さいたま市中央区) ソニックシティビル (さいたま市大宮区) 講師:中邨 登美枝氏 【(有)E-スタジオ】
	後期	参加数 開催回数 1事業所1名 (支部合計7事業所7名) 1回(平成26年10月)	
ワード活用	前期	参加数 開催回数 1事業所1名 (支部合計8事業所9名) 1回(平成26年5月)	
	後期	参加数 開催回数 0事業所0名 (支部合計6事業所6名) 1回(平成26年10月)	
パワーポイント活用	前期	参加数 開催回数 2事業所3名 (支部合計13事業所14名) 1回(平成26年5月)	
	後期	参加数 開催回数 1事業所1名 (支部合計6事業所6名) 1回(平成26年10月)	
HP作成講座	参加数 開催回数	3事業所3名 (支部合計14事業所17名) 1回(平成26年6月)	
情報セキュリティ + ICT活用セミナー	参加数 開催回数	2事業所2名 (支部合計13事業所13名) 平成27年3月9日	

3-1.テレコミュニケーション教育【セミナー等】

事業名	開催日・参加状況等		会場・内容等
ビジネスマナー セミナー(基礎編)	参加者 開催回数	12事業所26名 (支部合計64事業所115名) 5回(平成26年4月)	熊谷商工会館 (熊谷市) 他4会場 講師:松尾 友子 ・接遇マナー ・電話対応マナー
ビジネスマナー セミナー(実践編)	参加者 開催回数	3事業所7名 (支部合計26事業所43名) 4回(平成26年12月)	大宮ソニックシティ (さいたま市大宮区) 講師:岩下 宣子 ・ロールプレイングほか
英語電話対応研修 (初級コース)	参加者 開催回数	0事業所0名 (支部合計13事業所21名) 1回(平成26年10月9日)	大宮ソニックシティ (さいたま市大宮区) 講師:ベスト外国語学校
クレーム電話対応 研修	参加者 開催回数	5事業所7名 (支部合計18事業所29名) 2回(平成26年11月19・20日)	熊谷市商工会館(熊谷市) 川口商工会議所(川口市) 講師:佐藤 万里氏 ・ロールプレイングを中心に実用的 な研修
クレーム対応 セミナー 「お客様の怒りを 笑顔に変える」	参加者 開催回数	1事業所2名 (支部合計24事業所59名) 1回(26年10月14日)	大宮ソニックシティ (さいたま市大宮区) 講師: 谷 厚志氏
ビジネス電話対応 研修(基礎編)	参加者 開催回数	1事業所1名 (支部合計28事業所39名) 3回(26年6月)	やまぶき会館(川崎市) 大宮ソニックシティ(さいたま市) 埼玉会館(さいたま市) 講師:石亀 美夜子氏 佐藤 万里氏
「もしもし検定」4級付 きビジネスマナー研修	参加者 開催回数	0事業所0名 (支部合計19事業所31名) 2回(26年5月7日・8月6日)	大宮ソニックシティ(さいたま市) 講師:山本敦子氏 西田 奈保子氏
企業電話対応診断	参加数 実施月	0事業所 (支部合計10事業所) 平成26年4月～平成27年3月末	テレコミュニケーションアドバイザー(こ より)電話対応スキルを診断 ・診断結果を書面でアドバイス

3-2テレコミュニケーション教育【電話対応コンクール】

事業名	開催日・参加状況等		会場・内容等
事前説明会	参加数 開催回数	7事業所22名 (支部合計63事業所176名) 4回(平成26年6月)	市民会館おおみや小ホール 講師:石亀 美夜子氏 山本 淳子氏
県予選会に向けた 研修会	参加数 開催回数	11事業所26名 (支部合計93事業所208名) 24回(平成26年7月)	熊谷商工会館 大宮ソニックシティ さいたま市民会館おおみや 埼玉会館 NTT川越仲町ビル ユーザ協会契約講師 講師:石亀 美也子氏 以下7名
県予選会	参加数 開催日 成績	選手 16事業所21名 (支部全体124事業所166名) 平成26年9月3日～5日(3日間) ※県大会出場者(9名) ■(株)SBI証券(2名) 篠原 詩織様・林 義則様 ■(株)ベルーナ北関東オーダレセプション (4名) 木村 さとみ様 雨宮 美佳様 作本 奈美様 関口 典子様 ■(株)ベルーナ北関東グルメコールセンター (3名) 熊倉 由美子様 内田 彩様 藤崎 恭子様 様	さいたま市民会館おおみや 小ホール 審査委員:4名 石亀 美夜子氏 岩下 宣子氏 山本 淳子氏 佐藤 万里氏 ★上位者50名が 県大会出場

3-3.テレコミュニケーション教育【電話対応コンクール】

事業名	開催日・参加状況等		会場・内容等
県大会研修会	参加数	3事業所9名 (地区全体33事業所50名) 平成26.9.18-19日(2日間開催)	さいたま市文化センター (さいたま市浦和区) 講師:佐藤 万里氏 山本 淳子氏
第29回 埼玉県大会	参加数	3事業所9名出場 (地区全体29事業所49名) 見学(地区全体217名)	さいたま市文化センター 小ホール (さいたま市浦和区) ■優勝者 →全国大会へ出場 ■準優勝者 →全国大会見学研修へ 参加 審査委員: 石亀 美夜子氏 岩下 宣子氏 佐藤 万里氏 山本 淳子氏
	開催日	平成26年10月3日	
	成績	<p>■北地区 優勝、準優勝を受賞</p> <p>*<u>優勝 篠原 詩織様(北地区)</u> (株)SBI証券</p> <p>*<u>準優勝 木村 さとみ様(北地区)</u> (株)バルーナ北関東 オーダーレセプション 優秀賞 雨宮 美佳様(北地区) (株)バルーナ北関東 オーダーレセプション 優秀賞 泉 恵様(中央地区) (株)バルーナオーダー本部第2セクション 優秀賞 飯山 千帆様(中央地区) (株)ジュピターテレコム関東カスタマーセンター 優秀賞 佐野 由加子(南地区) (株)マードウレクス 優秀賞 高成田 明美(中央地区) (株)オージオ 優秀賞 渡邊 佑様(中央地区) 佐川急便(株)さいたま営業所</p>	
第53回 全国大会	成績	大会日 平成26年11月14日 県代表 (篠原 詩織様) (埼玉北地区) ★全国大会 入賞逃す 見学研修参加 (木村 さとみ様) (株)バルーナ北関東 オーダーレセプション (北地区)	石川県金沢市 (金沢歌劇座) 出場選手: 各都道府県代表 60名

3-4.テレコミュニケーション教育【電話対応技能検定※もしもし検定】★研修

事業名	開催日・参加状況等		会場・内容等
もしもし検定(3級) 8回開催	参加者 開催日	0事業所 0名参加 (地区合計19事業所 30名) H26.4,6,10,H27.2月	埼玉会館 (さいたま市浦和区)
もしもし検定(2級) 6回開催	参加者 開催日	1事業所 1名参加 (地区合計13事業所 16名) H26.5,7,11月	埼玉会館 (さいたま市浦和区)
もしもし検定(1級) 2回開催	参加者 開催日	1事業所 1名参加 (地区合計6事業所 6名) H26.8,9	埼玉会館 (さいたま市浦和区)

3-5.テレコミュニケーション教育【電話対応技能検定※もしもし検定】★検定

事業名	開催日・参加状況等		会場・内容等
もしも検定(4級) 7回開催	参加者 開催日	0事業所 0名参加 (地区合計26事業所37名) H26.5,7,8,10,12 H27.3月	大宮ソニックシティビル (さいたま市大宮区)
もしもし検定(3級) 4回開催	参加者 開催日	事業所 名参加 (地区合計19事業所30名) H26.5,7,11,H27.3月	大宮ソニックシティビル (さいたま市大宮区)
もしもし検定(2級) 3回開催	参加者 開催日	1事業所 1名参加 (地区合計13事業所 16名) H26.6,8,12	大宮ソニックシティビル (さいたま市大宮区)
もしもし検定(1級) 1回開催	参加者 開催日	0事業所 0名参加 (地区合計6事業所 6名) H26.10	大宮ソニックシティビル (さいたま市大宮区)

3-6.協会契約講師の活用(低廉な料金での紹介)

団体名等	講師等	研修名等
トヨタL&F埼玉 〔26年12月〕	オフィス アランチャ 代表 山本淳子氏	電話対応研修
トヨタL&F埼玉 〔27年3月〕	オフィス アランチャ 代表 山本淳子氏	電話対応研修

4. 講演会・交流会・地区独自施策

事業名	開催日・参加状況等		会場・内容等
経営トップセミナー	参加者 開催日	13名参加(地区合計114名) 平成27年2月26日	パレスホテル大宮 講演者(山田 吉彦氏)
会員PRコーナー (経営トップと同時開催)	参加者 開催日	10社出展 平成27年2月26日	パレスホテル大宮
特別講演会等 (定期総会同時開催)	参加者 開催日	35名参加 平成26年6月20日	落語 林家 のん平氏 マロウドイン熊谷(熊谷市)
サッカー観戦	参加数 開催日	12名参加(地区合計180名) 平成26年9月27日	Nack5スタジアム大宮 大宮VS清水 試合結果2-1(勝利)
ゴルフ大会	参加数 開催日	6名参加(地区合計52名) 平成26年9月25日	高麗川カントリークラブ (日高市)
新春交流会	参加数 開催日	20名参加(地区合計132名) 平成27年1~2月(4日間) バス7台	横須賀軍港めぐり 日産自動車横浜工場見学 ★エンジンの組立工程と展示物の見学
サッカー観戦 北地区独自開催	参加数 開催日	28名参加 平成26年9月13日	熊谷陸上競技場 大宮VS鹿島 試合結果2-1(勝利)

5. 情報活用・情報通信活用(施設見学)

事業名	開催日・参加状況等		会場・内容等
情報通信研修会	参加者 開催日	16名参加(地区合計69名) 平成26年12月(4日間)	NTT厚木研究開発センター (先端技術総合研究所)

平成26年度 決算報告

自 平成26年 4月 1日

至 平成27年 3月 31日

収 支 計 算 書

◆収入の部

(単位 : 円)

科 目	予算額 (A)	決算額 (B)	差異 (A)-(B)	備考
前年度繰越金	643,644	643,644	0	
会 費	1,520,000	1,490,000	30,000	入金済5,000円×298会員(前年度未納分入金あり)
預り金(参加者収入)※1	353,000	178,000	175,000	春の交流会参加費((5,000円×24名2,000×2名) スポーツ交流サッカー観戦(埼玉全体)(1,000円×12名) スポーツ交流サッカー観戦(地区独自)(1,500円×28名)
雑収入	200	7,454	▲ 7,254	預金利息 春の交流会負担金(当日キャンセル分)の返納
合 計	2,516,844	2,319,098	197,746	

◆支出の部

(単位 : 円)

科 目	予算額 (A)	決算額 (B)	差異 (A)-(B)	備考	
公益 事業 費	電話対応コンクール	760,000	730,000	30,000	研修会・予選会会場費
	企業電話対応診断				診断料
	情報活用系セミナー				講師料・会場費
	ビジネスマナーセミナー				講師料・会場費
小 計	760,000	730,000	30,000	—	
特別講演会(総会と同時開催)	110,000	119,982	▲ 9,982	講演会等の講師料	
交流 会	預り金(清算)サッカー・会 員交流会等	353,000	178,000	175,000	参加費収入※NTT共催事業 ★NTT支出(サッカー→チケット代)(交流会→バス代等)
	組織強化費(会員交流等不 足 分 補 填)	164,000	66,000	98,000	交流会等負担額=全費用-(預り金+バス代+昼食代)
小 計	627,000	363,982	263,018	—	
定 期 総 会	160,000	154,700	5,300	会場費等 ※NTT共催事業(意見交換会費用)	
理 事 会	100,000	116,965	▲ 16,965	会場費等	
小 計	260,000	271,665	▲ 11,665	—	
事 務 費	50,000	32,942	17,058	会費口座振替手数料、事務用品購入等	
通 信 費	80,000	44,221	35,779	会費請求書郵便料、振込手数料等	
上 部 費	234,680	281,104	△ 46,424	支部・本部費運営費	
小 計	364,680	358,267	6,413	—	
予 備 費	505,164	0	505,164		
合 計	2,516,844	1,723,914	792,930	—	
次 期 繰 越 金		595,184			

収支決算

前期繰越金	643,644
当期収入額	1,675,454
当期支出額	1,723,914
収支等残金	595,184

*収支等残金は平成27年度へ繰越

会計監査報告書

公益財団法人日本電信電話ユーザ協会埼玉北地区協会の平成26年度における収支決算については、関係書類を監査した結果、相違ないことを報告します。

平成27年4月27日

公益財団法人 日本電信電話ユーザ協会 埼玉北地区協会

監事 金子農機株式会社

監査役

山鹿昭弘 ㊞

監事 むさし証券株式会社 熊谷支店

支店長

木下伸也 ㊞

平成27年度事業計画

平成27年度もユーザ協会の2大事業である①ICT(情報通信技術)活用推進事業においては、ICT活用事例を踏まえモバイル、クラウドやセキュリティ関連セミナー等を、②テレコミュニケーション教育事業においては、「電話応対等研修」「電話応対技能検定(もしも検定)」等を中心に、会員サービスの向上および情報通信サービス利用者のニーズにこれまで以上に合致した事業活動を推進していくこととします。

併せて退会抑止・会員拡大に向け「事業活動PR」についても取り組みを強めることとします。

●今年度の組織的課題

(1)全国的組織(業務運営体制)見直しについて

ユーザ協会全体として「ユーザ協会の“持続可能な成長”を実現するために」業務運営体制の見直しに取り組みます。

(2)地区協会のあり方について

昨年来検討してきた『公益法人に相応しい支部・地区協会を創造するため、組織運営・業務運営の適正化に向けた業務プロセスの変革に取り組むとともに、「自立化・効率化・組織の見直し」に一定の結論を得て実現化を図り、さらに残された課題については引き続き検討・改善を図ることとします。

I. 基本方針

1. 公益事業の持続的発展について ==魅力ある事業の創造ときめ細やかなエリア展開==

①ICT活用推進事業、②テレコミュニケーション教育事業については、更なる認知度向上・参加者拡大に向け、従来からの参加事業所はもとより新たな参加事業所増に向けて魅力的な研修・セミナーとなるよう内容の充実に取り組みます。

また、開催場所についても事業の効率化とのバランスを考慮しつつ会員により近い、参加しやすい会場設定に努めます。

2. 組織運営・業務運営の一層の適正化に向けた組織改革・業務プロセスの変革について

(1)全国的組織(業務運営体制)見直しについて

今年度[ユーザ協会に求められている“経営課題”の解決のために]全国的に業務運営体制ならびに業務プロセスの見直しに取り組みます。

(2)地区協会の在り方等について

昨年、平成26年度定期総会において具体的検討項目・検討の進め方について承認を頂き本年2月26日(木)全地区協会正副会長・顧問打合せを開催しました。

本年度は、全地区正副会長・顧問打合せの議論を踏まえ、第6号議案として提案説明し一定の結論を得て、「地区協会のあり方」の実現化を進めます。

Ⅱ. 事業活動の実施について

各種事業の開催にあたっては、協会の存在価値を強く意識し、「魅力ある事業」、「事業の有効性」をより高めるため、参加状況やアンケート結果等を踏まえ、開催時期、開催会場、開催回数等を考慮し、各種事業に地区の意見を反映させることにより一層参加しやすいものとするよう継続的に改善を図ることとします。

また、ユーザ協会・事業PRの重要性を意識し、広報・広聴的な側面にも配慮しながら会員に定着している「ユーザ協会さいたまニュース」のさらなる有効利用のため、作成・発行・周知等の改善に努めていくこととします。

また、地区独自事業については、他地区とのコラボや地域団体等との連携を強化するなどの工夫をした事業を推進することとします。

1. ICT(情報通信技術)活用推進事業

ICT活用推進事業はユーザ協会の大きな柱の一つであり、会員事業所の支援としても重要な事業であるため以下の(1)～(4)について支部と共に取り組んでまいります。

(1) 情報関連セミナー

企業経営者等に対するICT化等への支援事業として、①情報通信技術の最新情報(モバイル、クラウド、セキュリティ等)②企業における利用事例等をテーマとしたセミナーを提携事業者とも連携し開催します。

(2) 情報活用系セミナー

HP作成、表計算、グラフ作成、プレゼン用資料作成のほか、ブログ・ツイッター・フェイスブック利用方法並びにソーシャルメディア等によるビジネス活用講座を開催してきましたが、年々参加者数が減少傾向にあることなどから今年度は、ニーズの高い「Excel」のみ実施することとします。

(3) 情報通信研修会

今年度は、平成26年度実施結果に基づき「目的・趣旨」等を踏まえ、総合的な検討結果ならびに業務提携事業であることなどから平成27年度は見合わせしますが、今後は、①型どおりのマンネリ化した内容を排し、新技術・話題性のある技術に特化する。②繰り返し・恒常化を排し、タイムリーな開催とする、③より参加しやすさ等を目指し種々工夫の上実施することとします。

(4) 経営トップセミナー

各界ご活躍の講師を招き、企業の経営管理者層を対象として、情報通信や経営・経済情報などの事業経営に役立つ内容を中心に引き続きセミナーを開催します。

2. テレコミュニケーション教育事業

ユーザ協会事業のもう一つの大きな柱である本事業も支部と一体となって取り組むこととします。

(1) ビジネスマナーセミナー(新人編・トータル編)

個々の事業所ではなかなか開催できないビジネスマナー、接遇マナーや電話応対について、社会人に必要な知識の習得を目的に参加しやすい会場を設定し開催します。

(2) 電話応対技能検定(もしもし検定)

受検希望者へのきめ細かなサポートと全体の裾野拡大に地区としても取り組むこととします。

(3) 企業電話応対診断

会員サービスとして有効な事業であるが、利用企業の減少が続いていることから今年度は『無料診断キャンペーン(期間限定)』を設定し、より多くの会員様に体験していただき利用の拡大を図ることとします。

(4) 電話応対コンクール事業

コンクール問題の説明会から研修会、県大会予選会、県大会までは半年にわたる事業です。優勝者は、全国大会(前橋市)に出場していただきます。

県大会出場者決定には地区枠も設定されており、併せて県大会は第30回を迎えることから、記念大会として充実を図ることとします。

(5) 好評な事業の継続開催

①クレーム対応セミナー、②クレーム電話応対研修、③英語電話応対研修についてはアンケート結果からも継続希望が多く、内容も好評であることから平成27年度も継続実施します。

3. 会員交流会

会員相互の交流を図るため、以下の事業を開催します。

(1) スポーツ観戦

①サッカー観戦 大宮アルディージャホームゲーム (NACK5スタジアム)

②ゴルフ大会

③サッカー観戦北地区独自事業(熊谷運動陸上公園)

(2) 社会見学会(バスで行く日帰り研修会:埼玉県内予定)

(3) 地域活性化事業(未定)

4. 会員の維持・拡大

(1) ホームページによる情報提供の充実

ユーザ協会への入会理由第1位は「セミナー・研修会等への参加」、第2位は役員・会員様からの紹介、第3位は「電話応対コンクールへの参加」となっています。

「セミナー・研修会等への参加」を理由に入会した会員様はインターネット経由での申し込みも少ないことから、HPの充実も会員拡大の大きなポイントの一つ考えます。特に事業開催のご案内は、早めの情報提供により新規入会・退会抑止に効果が期待できます。

(2) 地域団体との連携

“相互の会員サービスの向上・会員拡大につながる”との考えに基づき、各団体のご理解・ご協力・ご支援により取り組んだコラボ事業は、一定の成果が得られました。

今年度も引き続き各団体と地区協会のよりよい関係を目指し、併せて会員拡大を図るため「電話応対研修(ステップアップ編)」ほかの事業も提案してまいります。

(3) 会員維持(退会抑止)・拡大施策

①事業PRのため「さいたまニュース」の有効利用、HP等による周知充実・強化

②電話応対コンクール・電話応対技能検定・研修などに参加された会員事業所への継続参加を働きかける。

③新規会員獲得ツールの整備

ユーザ協会埼玉支部・地区の活動内容を紹介している、入会勧奨用リーフレット「ユーザ協会埼玉支部のご案内」をリニューアルします。

5. 会員企業支援事業(継続実施)

(1) 契約講師の派遣(有料/特別料金で提供)

ビジネスマナー等の社員研修へ協会契約講師を紹介します。

(2) 模擬電話機セットの貸出(利用無料)

電話応対研修用模擬電話機セット「ピアコール」を貸出します。

(3) 人材育成用DVDの貸出(利用無料)

ビジネス電話の基本、クレーム電話応対(基本編・実践編)のDVDを貸出します。

(4) テレコムフォーラム誌の発行(月刊)

経営者のためのICT(情報通信技術)の活用情報などを引き続き提供します。

ユーザ協会 平成27年度事業予定表

ユーザ協会 平成27年度事業予定表 (案)

		事業名	予定時期(計画)	備考	
一般		Excel(前期)	5/12(火)<with youさいたま>		
		Excel(後期:関数)	11月上旬 <with youさいたま>		
		経営トップセミナー	2116年(H28)2月開催 検討中	会員無料(1会員:2名限定)	
		会員PRコーナーの併設	経営トップセミナー同日開催 実施検討中		
公益		情報セキュリティセミナー	11月中旬	会員無料(1会員:2名限定)	
		経営者を対象としたセミナーの開催	11月中旬		
		フレッシュマン(新人)ビジネスマナー研修	4/13.15.17.23 計4回		
		仮名:ビジネスマナー研修(トータル編)	実施検討中		
		ビジネスマナー研修+もし検4級(基礎編)	①6月上旬 ②8月上旬		
		ビジネス電話対応(基礎)研修	6/月中旬 3回		
		クレーム対応セミナー	10月中旬 1回		
		クレーム電話対応研修	10月下旬 2回		
		英語電話対応研修(初心者コース)	9月中旬 1回		
		電話防犯セミナー	3回検討中		地域団体等との連携検討
		ネットショッピング	1回検討中		
		タブレット端末体験会	調整中		
		ビジネス電話対応(ステップアップ)研修	①6/26(金) ②7/22(水)		
		企業電話対応診断	4月~12月	無料期間(案)7月~9月 (3ヶ月間限定) 6月下旬、FAX周知予定	
		もしもし検定(4級)	①7/1、②11/4、③12/2、④3/2	最少催行受験者数設定	
	もしもし検定(3級)	①7/1、②11/4、③3/2			
	もしもし検定(2級)	①12/2			
	もしもし検定(1級)	10月第一水曜日			
一般・公益	電話対応コンクール	説明会	6/4(木)、5(金)2日間実施 (市民会館 うらわ)		
		県予選研修会	7月上旬から下旬 10日前後	参加者数に応じて	
		県予選会	9月上旬 3日間程度 <さいたま市民会館おみや小ホール>	参加者数に応じて	
		県大会事前研修会	9月中旬		
		県大会	10月9日(金) <さいたま文化センター小ホール>	第30回記念大会として ①参加者数増 ②入賞数増+記念品等 検討中	
		関東研修会 全国大会	10/27(火) 11月27日(金)ベシア文化ホール(群馬県民会館)	前橋市	
会員交流		サッカー観戦(FM NACK5 スタジアム)	7/26(日) 18:00 大宮 VS 岐阜 検討中		
		ゴルフ大会	9/10(木)鴻巣CC 検討中		
		会員交流会	"秋の交流会(埼玉の企業+観光)"検討中		
		野球観戦(埼玉西武ライオンズ)	検討中		
一般		テレコムフォーラム			
		HPIによる情報発信			
会員支援		模擬電話機セットの貸出	通年(継続実施)		
		人材育成用DVDの貸出			
		契約講師の紹介・手配			

平成27年度収支予算

自平成27年 4月 1日

至平成28年 3月31日

収 支 予 算 書

◆収入の部

(単位：円)

科 目	27年度予算額	<参考> 26年度決算額	予算額内訳
前年度繰越金	595,184	643,644	
会 費	1,455,000	1,490,000	5,000円×291会員
預り金(交流会参加費相当)	211,000	178,000	スポーツ交流(埼玉全体)サッカー観戦(1,000円×16名) スポーツ交流(北地区独自)サッカー観戦(1,500円×30名) 春の交流会参加費(5,000円×30名)
雑収入	200	7,454	預金利息
合 計	2,261,384	2,319,098	—

◆支出の部

(単位：円)

科 目	27年度予算額	<参考> 26年度決算額	予算額内訳	
公益事業費	727,500	730,000	研修会・予選会会場費	
			企業電話対応診断	
			情報活用系セミナー	
			ビジネスマナーセミナー	
小 計	727,500	730,000	—	
特別講演会(総会同時開催)	120,000	119,982	講演会等講師料	
交流会	預り金(清算)サッカー・会員交流会等	211,000	178,000	参加費収入※NTT共催事業 ★NTT支出(サッカー→チケット代)(交流会→バス代等)
	組織強化費(会員交流等不足分補填)	93,000	66,000	交流会等地区負担額=全費用-預り金
地区活性化事業費	100,000	0		
小 計	524,000	363,982	—	
定期総会	160,000	154,700	会場費等 ※NTT共催事業	
理事會	140,000	116,965	会場費等	
小 計	280,000	271,665	—	
事務費	50,000	32,942	会費口座振替手数料、事務用品購入等	
通信費	60,000	44,221	会費請求書郵便料、振込手数料等	
上部費	282,500	281,104	支部費500円×291会員、システム費、本部費	
小 計	392,500	358,267	—	
予備費	337,384	0		
合 計	2,261,384	1,723,914	—	
次期繰越金		595,184		

(公財)日本電信電話ユーザ協会北地区役員

(順不同・敬称略)

役員名	氏名	事業所	役職	所在地
会長	大澤 孝至	松坂屋建材(株)	代表取締役	熊谷市
副会長	内田 睦夫	本庄商工会議所	専務理事	本庄市
	松本 賢治	秩父商工会議所	専務理事	秩父市
理事	栗原 栄	熊谷商工会議所	専務理事代行 事務局長	熊谷市
	藤間 憲一	(株)オキナヤ	代表取締役社長	熊谷市
	安田 格	埼玉縣信用金庫	理事長	熊谷市
	八木橋 宏貴	(株)八木橋	取締役社長	熊谷市
	石山 洋一	石山商工(株)	取締役社長	熊谷市
	川島 忠正	川島樹脂工業	代表	行田市
	柴崎 貴男	SEIオプティフロンティア(株) 埼玉事業所	人事総務部 グループ長	行田市
	高橋 信一郎	(株)高橋組	取締役会長	秩父市
	末岡 克教	沖電気工業(株)本庄工場	北関東担当 総務部長	本庄市
	田邊 勲	(株)キットセイコー	会長	羽生市
	荒木 秀雄	羽生市商工会	会長	羽生市
	深井 英明	北本市商工会	会長	北本市
	小林 忠司	鴻巣市商工会	会長	鴻巣市
	新井 進二	(株)新井機械製作所	代表取締役社長	深谷市
	柿沼 覚	深谷商工会議所	専務理事代行 事務局長	深谷市
監事	木下 伸也	むさし証券(株) 熊谷支店	支店長	熊谷市
	山鹿 昭弘	金子農機(株)	監査役	羽生市
顧問	高内 利政	NTT東日本 熊谷営業支店	支店長	熊谷市

地区協会の統合

検討を進めてまいりました「地区協会のあり方等について」は、本年2月26日(木)に全地区協会正副会長・顧問打合せを開催いたしました。この打合せ内容を踏まえ、会員サービスの維持向上等に資するため「地区協会の統合」に向け平成27年度中に準備し、平成28年4月1日をもって組織を統合することとします。

1. 背景

(1) 情報通信の変化・多様化

- ・固定電話⇒クラウド、セキュリティ、モバイルデバイス(スマホ等)

(2) 会員ニーズの変化・多様化

- ① 会員相互の親睦・交流に係る嗜好の変化・多様化
- ② ICT関連の技術、スキル・ノウハウの多様化
- ③ 協会特典の有効性の低下 (電話帳広告、ドコモ割引、等)

(3) 協会自らの課題(支部の業務再編成、統合)

- ① 業務運営体制の効率化(広域業務集約等)
- ② ユーザ協会支援担当の減少

(4) その他：経済のグローバル化、国内市場の縮小、中心市街地の衰退等

2. 統合にあたっての考え方

- (1) 地区協会の大括り化により1地区の規模を拡大し、地区協会の「財務体質の強化・価値ある事業活動推進力の強化」により会員サービスの向上・均質化を図る。
- (2) 定型・繰返業務の効率化を図り、その資源を会員ニーズに沿った個々の事業へシフトすることにより「会員第一」を志向・具現化する。
- (3) 長年にわたり提携事業者と連携し運営してきた経過を踏まえ、提携事業者に配慮した組織とする。

3. 統合

現 状	見直し後(仮称)	備 考
埼 玉 中 央	埼玉中部地区協会	
埼 玉 北		
埼 玉 中 央 東		
埼 玉 南	埼玉南部地区協会	
埼 玉 東		
埼 玉 東 南		
埼玉中央西	埼玉西部地区協会	
埼 玉 西		

4. 新地区は平成28年4月1日新地区を発足することとする

5. 新体制設立委員会(仮称)の設置について

新地区協会設立に必要な事項の検討・準備を行なうため、「新体制設立委員会(仮称)」(以下、委員会という)を設置するものとする。

6. 委員会の役割と具体的な取り組み

(1) 委員会の構成

委員会は当該地区の正副会長と顧問等で構成する。

(2) 新地区協会設立に必要な事項の検討・策定

①地区協会の名称

②会則の立案・制定

③役員を選定及び埼玉支部理事の推薦

④その他

(3) 必要事項の議決と設立総会

委員会は、各地区協会理事会・総会に代わって統合案を議決する。

また、統合案を議決をもって設立総会に代えることができる。

(4) 委員会設置時期等

地区協会の統合等は会則第3条2項に基づき総会の議決後、支部理事会において統合承認を行なう必要があることから、発足時期に向けての委員会設立は支部理事会開催時期に応じて平成27年10月を目途に設置する。

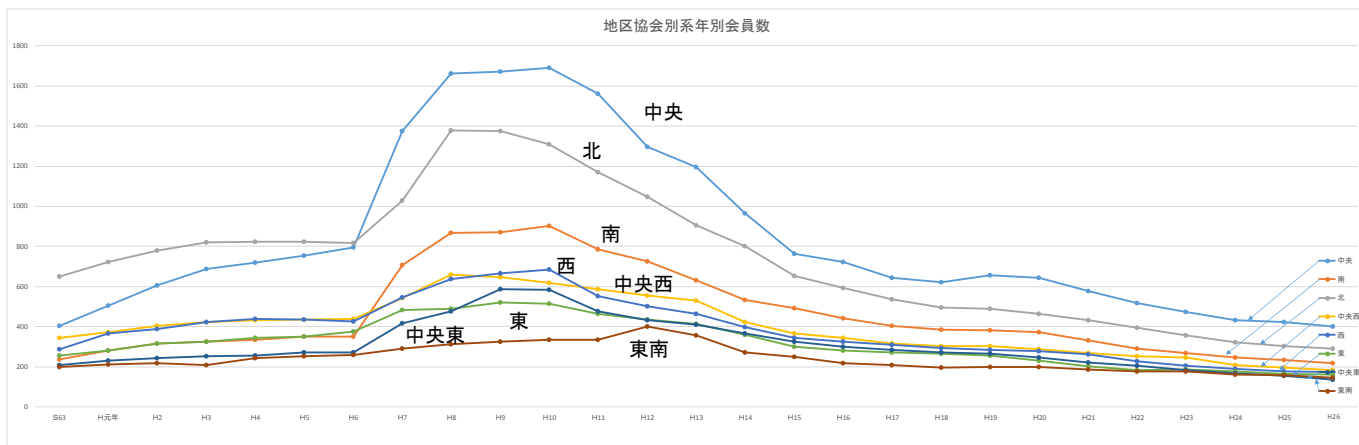
なお、全ての準備はおおむね平成28年2月末までに完了することとする。

7. スケジュール(イメージ)

年月	2015(H27)年度					2016	備考
	5月	6月	7-9月	10-12月	1-3月	4月1日	
主な検討作業	理事会で新地区への統合等関連意思決定 支部理事会で3地区への統合意思決定	②新体制設立委員会・設置、権限委譲の承認を議決 地区総会で新地区への①統合意思決定、	支部理事会で地区統合の承認等	新体制設立委員会の設置 ・新地区体制の検討開始 統合に向けた作業を開始(事務局)	2月末目途に作業完了	新地区発足	

●参考:経年別 地区協会別 会員数の推移

※S63～H14は、現8地区協会に合わせて集計した値



	S 63	H元年	H2	H3	H4	H5	H6	H7	H8	H9	H10	H11	H12	H13	H14	H15	H16	H17	H18	H19	H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26
中央	403	506	606	687	719	753	794	1375	1662	1671	1691	1560	1297	1194	964	765	723	643	623	657	644	578	518	475	431	422	401
南	238	280	317	326	336	349	349	706	869	871	903	786	726	631	534	491	441	404	386	381	371	331	290	269	245	234	218
北	651	723	778	821	823	825	818	1027	1378	1375	1308	1170	1048	904	800	654	593	535	494	489	464	433	396	358	322	304	291
中央西	343	373	403	422	432	437	438	544	660	647	620	586	554	531	422	367	344	315	304	302	286	268	253	245	209	197	183
西	286	365	388	423	438	435	427	547	636	666	684	551	502	465	399	345	325	308	293	284	277	262	227	205	190	178	175
東	256	280	315	325	345	350	375	484	490	522	514	465	437	413	359	299	280	272	265	256	231	203	182	186	178	165	161
中央東	209	232	243	253	257	272	272	416	478	586	584	476	433	409	365	325	301	284	271	266	248	222	207	183	167	154	137
東南	200	213	219	210	244	252	259	291	313	325	334	335	400	356	272	250	218	208	195	199	198	185	178	176	160	159	146
合計	2,586	2,972	3,269	3,467	3,594	3,673	3,732	5,390	6,486	6,663	6,638	5,929	5,397	4,903	4,115	3,496	3,225	2,969	2,831	2,834	2,719	2,482	2,251	2,097	1,902	1,813	1,712

●参考:経年別 地区協会別 会員数の推移

H26年度末(2015年3月)

	中央	南	北	中央西	西	東	中央東	東南	合計
対前年比 会員数	401	218	291	183	175	161	137	146	1,712
増減数	-21	-16	-13	-14	-3	-4	-17	-13	-101
増減率	▲ 5.0	▲ 6.8	▲ 4.3	▲ 7.1	▲ 1.7	▲ 2.4	▲ 11.0	▲ 8.2	▲ 5.6
増加数	9	2	6	1	3	2	1	2	26
減少数	30	18	19	15	6	6	18	15	127

H25年度末(2014年3月)

	中央	南	北	中央西	西	東	中央東	東南	合計
対前年比 会員数	422	234	304	197	178	165	154	159	1,813
増減数	-9	-11	-18	-12	-12	-13	-13	-1	-89
増減率	▲ 2.1	▲ 4.5	▲ 5.6	▲ 5.7	▲ 6.3	▲ 7.3	▲ 7.8	▲ 0.6	▲ 4.7

H24年度末(2013年3月)

	中央	南	北	中央西	西	東	中央東	東南	合計
対前年比 会員数	431	245	322	209	190	178	167	160	1,902
増減数	-44	-24	-36	-36	-15	-8	-16	-16	-195
増減率	▲ 9.3	▲ 8.9	▲ 10.1	▲ 14.7	▲ 7.3	▲ 4.3	▲ 8.7	▲ 9.1	▲ 9.3

H23年度末(2012年3月)

	中央	南	北	中央西	西	東	中央東	東南	合計
対前年比 会員数	475	269	358	245	205	186	183	176	2,097
増減数	-43	-21	-38	-8	-22	4	-24	-2	-154
増減率	▲ 8.3	▲ 7.2	▲ 9.6	▲ 3.2	▲ 9.7	2.2	▲ 11.6	▲ 1.1	▲ 6.8

H22年度末(2011年3月末)

	中央	南	北	中央西	西	東	中央東	東南	合計
対前年比 会員数	518	290	396	253	227	182	207	178	2,251
増減数	-60	-41	-37	-15	-35	-21	-15	-7	-231
増減率	▲ 10.4	▲ 12.4	▲ 8.5	▲ 5.6	▲ 13.4	▲ 10.3	▲ 6.8	▲ 3.8	▲ 9.3

H21年度末(2010年3月末)

	中央	南	北	中央西	西	東	中央東	東南	合計
対前年比 会員数	578	331	433	268	262	203	222	185	2,482

●3地区案 (体制イメージ)

